平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	消防団員報酬、出動手当

所管課	43	危機管理課	（総務部）

事業の目的	消防団の充実強化を図り、地域の防災力を向上させ、安全で安心な地域づくりを推進する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	2	非常備消防費
細目	1	本庁非常備消防費

根拠条例等	宇陀市消防団条例
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H30年度事業の概要	宇陀市消防団における団員の福利厚生並びに車両やポンプ等の資機材維持保全に充てる。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	消防団は、各自の職業に従事しながらも有事に際して、いち早く現場へ駆けつけ、消火活動や防災活動を行っているほか、平常時には機械器具点検や訓練並びに予防啓発活動を行っており、地域防災力の中核を担う重要な組織である。 これらの活動の強化充実のため、適正な福利厚生並びに安全装備品の充実や資機材の更新による活動環境の整備を行い、組織強化を図ることで地域防災対応力向上に寄与する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	32,813
H30予算額	32,813
H29 当初予算額	33,979
H29 現計予算額	33,979
増減額	▲ 1,166

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	34,097	33,839
従事職員数【人工】	2.00	2.00
人件費（人工×8,000千円）	16,000	16,000
総事業費：人件費含む（千円）	50,097	49,839
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	団員数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	1,026 単位 人	1,008 単位 人
単位当たりコスト　（円）	48,827	49,443

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (3)消防団活動の充実・安定

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	女性消防団員活動育成事業

所管課	43	危機管理課	（総務部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	2	非常備消防費
細目	1	本庁非常備消防費

事業の目的

地域の高齢者や子どもの防火・防災意識を高めるために、宇陀市消防団女性部の活動を支援し、きめ細やかな広報・啓発活動を推進し、災害に強いまちを目指す。

根拠条例等	宇陀市消防団条例
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H30年度事業の概要

宇陀市消防団女性部が活発に広報・啓発活動を行えるよう、その活動に必要な被服等を購入する。また、女性消防団員活性化大会へ参加する。

品名	金額	備考
女性消防団活性化大会旅費	175千円	滋賀県
女性消防団員制服	105千円	
合　計	280千円	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

女性団員は団長直轄の団本部に所属。管轄は宇陀市全域を対象に、女性の視点を活かした広報・啓発活動を様々な機会を通して行い、市民の防火・防災意識を高める。
【活動内容】
①火災予防、地域防災に関する広報、啓発活動
②応急手当の普及活動
③消防団や関係機関が行う主要行事への参加
④災害時の後方支援

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	280
H30予算額	280
H29 当初予算額	809
H29 現計予算額	809
増減額	▲ 529

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		609
従事職員数【人工】		0.05
人件費（人工×8,000千円）		400
総事業費：人件費含む（千円）		1,009

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	団員数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)		単位		18	単位	人
単位当たりコスト　（円）				56,056		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[暮らしの安全]
(3)消防団活動の充実・安定

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	防災行政無線システム維持管理事業

所管課	43	危機管理課	（総務部）

事業の目的	デジタル波設備に更新・統合した防災行政無線の安定した運用を行うため、適切な環境維持と緊急時に即時対応できるよう保守管理を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H30年度事業の概要

防災行政無線システムを常に良好な状態で維持するため、保守管理を行う。

科目名	予算額	備考
旅費	4千円	研修旅費
需用費	2,289千円	中継局・子局電気代他
役務費	113千円	回線使用料等
委託料	19,836千円	保守管理費
使用料及び賃借料	462千円	電波利用料、借地料
工事費	227千円	屋内受信機設置
合計	22,931千円	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

非常時における市民への情報伝達を行う防災行政無線システムの維持管理を適切に行い、災害時の必要な情報の確実な伝達を行う。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	22,931
H30予算額	22,931
H29 当初予算額	5,125
H29 現計予算額	5,125
増減額	17,806

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		4,025
従事職員数【人工】		0.40
人件費（人工×8,000千円）		3,200
総事業費：人件費含む（千円）		7,225
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	市民一人当たり費用	
活動指標の算式	歳出額／人口	
活動指標の実績(見込)	単位	31,067 単位 人
単位当たりコスト　（円）		233

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[暮らしの安全]
(2)防災行政無線システム維持管理事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	防災・防犯情報及び学校安全安心メール配信事業

所管課			
	43	危機管理課	（総務部）
	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費

事業の目的

携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、市からの防災・防犯情報をいち早く市民に伝達し、市民の安全・安心を確保する。また、消防団員等の緊急連絡として活用することにより、迅速な災害対応を行う。
さらに、市からのお知らせやイベント情報等の配信により市民サービスの向上を目指す。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H30年度事業の概要

[配信内容]
火災情報、気象情報、防犯・安心情報、くらしの情報、イベント情報
[登録者]
5,133人(H29年12月末時点)
[登録用メールアドレス]
t-uda@sg-m.jp
[メール種別]
①住民用　②学校・こども園等保護者用　③消防団員用
④市職員用

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

安全・安心メール配信システムへの登録者に対し、災害時の避難情報等の緊急情報や気象警報、火災情報、防犯情報等を配信するとともに、うだチャン11（CATV自主放送）との連動により多くの方への情報伝達を行い、市民の安心・安全を確保する。
また、聴覚障害者が防災情報等を得るための手段としても活用することができる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	899
H30予算額	899
H29 当初予算額	940
H29 現計予算額	940
増減額	▲ 41

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	67	940
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む（千円）	467	1,340

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	登録者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	4,506	単位	人	5,450	単位	人
単位当たりコスト　（円）	104			246		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[暮らしの安全]
(1)防災・防犯情報及び学校安全安心メール配信事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	避難所設備強化事業（地方創生）

所管課	43	危機管理課	（総務部）

事業の目的	大規模災害に備えて、災害に強いまちづくりを推進することを目的に、避難所設備の充実を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H30年度事業の概要	避難施設の機能強化のため、AEDを配備する。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	指定避難所となる公共施設等の設備を充実し、災害時における避難所生活を強化する。 ■平成28年度実績 身体障害者用簡易トイレ ■平成27年度実績 インバーターガス発電機 LED投光器一式

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	93
H30予算額	93
H29 当初予算額	774
H29 現計予算額	774
増減額	▲ 681

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	405	774
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	1,205	1,574
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	避難所数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	30 単位 箇所	30 単位 箇所
単位当たりコスト　（円）	40,167	52,467

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (4)避難所設備強化事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自主防災組織設立推進事業

所管課	43	危機管理課	（総務部）

事業の目的	災害が多様化している今日において、地域の自治会組織を中心とした共助機能は、個々のプライバシーや自己権利の主張などを原因に低下の状況にある。これは地域の災害に対する備えも低下していることに他ならない。 このような状況に歯止めをかけ、地域住民の災害に対する知識と備えを向上させ、地域共助機能の回復・高揚と減災を図るとともに高齢者から子供までが協力して、安全で安心に暮らせる地域づくりの一助とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費

根拠条例等	宇陀市自主防災組織育成事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H30年度事業の概要	従来から進めている自主防災組織の結成を促進し、結成率を高めるための支援を行う。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	自主防災組織は、地域で希薄となっている共助意識の高揚と大規模災害発生時の地域の減災に資するものである。 また、自主防災組織は、大規模災害発生時の公助の立ち遅れをカバーするものであり、住民相互の協力による共助活動を推進し、地域防災力の強化を図るものである。 結成率　70.95%　（平成30年1月末時点） （結成率＝自主防災組織加入世帯／宇陀市の総世帯数）

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	300
H30予算額	300
H29 当初予算額	300
H29 現計予算額	300
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	272	300
従事職員数【人工】	0.10	0.30
人件費（人工×8,000千円）	800	2,400
総事業費：人件費含む（千円）	1,072	2,700
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	補助団体数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	6 単位 団体	6 単位 団体
単位当たりコスト　（円）	178,667	450,000

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (8)自主防災組織設立の促進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自主防災組織資機材購入補助事業

所管課	43	危機管理課	（総務部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費

事業の目的

地域住民の災害に対する知識と備えを向上させ、地域共助機能の回復・高揚と減災を図るとともに、高齢者から子どもまで協力して安全で安心に暮らせる地域づくりの一環とする。

根拠条例等	宇陀市自主防災組織の資機材の整備に係る補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H30年度事業の概要

自主防災組織を結成した組織に対して必要最小限度の資機材を備えてもらうため、資機材の整備に係る経費について、一定の補助金を交付する。

交付する額は、25世帯以上の団体は当該自主防災組織が資機材の購入に要した経費の2分の1以下の金額、または基本額50,000円と自主防災組織の世帯数×500円を合計した金額のいずれか低い額とする。

ただし、25世帯未満の団体は基本額を25,000円とする。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

結成された自主防災組織に必要最小限の資機材を装備してもらい、組織の強化拡充を図ることで、地域の共助意識高揚の一環となるほか、減災に資する効果が期待できる。

年　度	交付組織数	交付額（円）
平成25年度	8	1,198,300
平成26年度	3	298,700
平成27年度	2	130,400
平成28年度	2	161,500
合　計	15	1,788,900

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	700
H30予算額	700
H29当初予算額	1,000
H29現計予算額	1,000
増減額	▲ 300

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	162	500
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	962	1,300

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	補助団体数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	2	単位	団体	3	単位	団体
単位当たりコスト　（円）	481,000			433,333		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[暮らしの安全]
(9)自主防災組織資機材購入補助事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	災害時備蓄用品整備事業

所管課	43	危機管理課	（総務部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費

事業の目的

災害が発生した場合、または災害が発生するおそれがある場合に、災害活動体制の万全を期し、応急対策を強力かつ迅速に推進するため、備蓄品の整備を行う。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H30年度事業の概要

避難所等での食料等の備蓄品の計画的な補充

品名	数量
アルファ化米	2,500個
飲料水	2,400本
毛布	200枚
エマージェンシーパック	30個
災害救急セット	30個
パンの缶詰	960個

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

■設備の充実による避難施設としての機能強化
・非常用電源、自家発電機
・多様な通信手段
・照明設備
・食料、飲料水、生活用品
・マスクや手指消毒液
・暖房器具
・マッチ、プロパンガス、固形燃料等の燃料
・簡易トイレ、仮設トイレ
・パーティション　等
■要配慮者、女性、乳幼児等を考慮した避難施設・設備の整備
・紙おむつ等の介護用品
・高齢者や食物アレルギーを持つ人に対応した食事
・生理用品
・粉ミルク、おむつ等の乳幼児用品

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	2,690
一般財源	1
H30予算額	2,691
H29当初予算額	2,691
H29現計予算額	2,691
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,345	3,370
従事職員数【人工】	0.10	0.30
人件費（人工×8,000千円）	800	2,400
総事業費：人件費含む（千円）	2,145	5,770

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	避難所数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	30	単位	箇所	30	単位	箇所
単位当たりコスト　（円）	71,500			192,333		

特定財源の状況

災害救助基金繰入金　2,690千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[暮らしの安全]
(5)災害時備蓄用品整備事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	全国瞬時警報システム新型受信機導入事業

所管課	43	危機管理課	（総務部）

事業の目的	消防庁からの指導に基づき、全国瞬時警報システム（Jアラート）の受信機を新型受信機に更新する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H30年度事業の概要	全国瞬時警報システム新型受信機導入工事 〇機器費、設置工事費、調整費　2,754,000円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	現行受信機を更新することにより、緊急情報の伝達に要する時間を短縮することが可能となる。また、今後Jアラートで配信する情報等の追加があった場合、現行受信機では処理能力や容量の不足による機器の不具合が危惧されるが、新型受信機に更新することで対応が可能となる。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	2,700
その他	
一般財源	54
H30予算額	2,754
H29当初予算額	
H29現計予算額	
増減額	2,754

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

緊急防災・減災事業債　2,700千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (6)全国瞬時警報システム新型受信機導入事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	地域防災拠点等整備基本構想策定事業

所管課	43	危機管理課	（総務部）

事業の目的	消防団組織再編計画に基づき、消防機庫の統合による整備を行うとともに、地域の防災コミュニティの拠点となる施設整備を行うことにより、地域防災力の向上、やすらぎとうるおいのある地域環境の確保を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	5	消防施設費
細目	1	本庁消防施設費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H30年度事業の概要	地域の防災コミュニティの拠点として活用できる施設の整備に向けた基本計画を策定する。 ○委託料　4,000千円 （菟田野第3分団 室生第2分団）
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	機庫整備を行うことにより、分団の連携強化を図ることができる。また、地域住民の防災コミュニティ活動の拠点とすることで地域の防災力の向上が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	2,000
その他	2,000
一般財源	
H30予算額	4,000
H29当初予算額	
H29現計予算額	
増減額	4,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況	
過疎対策事業債	2,000千円
地域づくり推進基金繰入金	2,000千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (7)地域防災拠点等整備基本構想策定事業